

知っておこう防災学習のキーワード

1・2・3年で学んだキーワード	心のケア 自助 共助 ボランティア
状況に 対応	家や学校にいないときでも災害にあう可能性はあります。その場所や状況によっては避難の仕方も変わります。その場に応じた対応を取ることが大切です。
家族会議	緊急避難のときにどこへ集まるか、どう連絡し合うか、何を持ち出すか、わが家の防災は大丈夫か、家族でしっかり話し合っておきたいものです。
救急法	緊急のときに、病院へ行くまでの間、自分たちでできることがあります。基本の知識を身に付けておくことが大切です。
公助	避難所の指定や非常用物資の保管など、仙台市が防災のために行っていることや復興のために取り組んでいることなどをきちんと理解しておきましょう。
サバイバル	災害などの困難な状況を越えて生き残ることです。そのための方法や技術をしっかり学ぶ必要があります。
減災	地震や津波、台風などの自然災害は避けられないことが多いので、災害が起きてしまったことを考えて、その被害をできるだけ少なくしようとする工夫が大切になります。

読んでみよう 調べてみよう

- 『ぼくの街に地震がきた—大震災シミュレーションコミック』(単行本)
 - 『大地震サバイバル きみならどうする?』(単行本)
 - 津波からにげる(ビデオと津波防災ハンドブック)
 - 地球キッズ探検隊(地震調査研究推進本部HP)
 - こども防災e-ランド(総務省消防庁HP)
 - 3がつ11にちをわすれないためにセンター(せんだいメディアテークアーカイブ)
- ※図書室にどんな防災の本があるかも調べてみましょう。

東北地方太平洋沖地震の概要

- ① 発生日時 2011(平成23)年3月11日 14時46分
- ② 地震の起こった場所 三陸沖(北緯38.1度, 東経142.5度)
- ③ 地震の規模 マグニチュード9.0
- ④ 仙台市内の震度
震度6強 宮城野区 震度6弱 青葉区, 若林区, 泉区
震度5強 太白区 *最大震度は栗原市の震度7
- ⑤ 津波 3月11日 14時49分太平洋沿岸に大津波警報発令
津波の高さ 仙台港 7.2m(推定値)

仙台市の被災状況(平成28年3月31日現在)

- ① 人的被害
 - 死者
仙台市民の方 1,002名(男性554名, 女性448名)
(市外で死亡が確認された方193名を含む。)
 - 行方不明者 26名(男性13名, 女性13名)
 - 負傷者 2,275名(重症276名, 軽傷1,999名)
- ② 建物被害
 - 全壊 30,034棟
 - 大規模半壊 27,016棟
 - 半壊 82,593棟
 - 一部損壊 116,046棟



東北地方太平洋沖地震による仙台市内津波の浸水地域は、浸水した部分

東日本大震災をひきおこした地しんを東北地方太平洋沖地震といいます。